

上田市教育委員会 7 月定例会会議録

1 日 時

令和 3 年 7 月 2 0 日（木） 午後 3 時 0 0 分から午後 4 時 0 3 分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ 5 階 第 1 会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	峯 村 秀 則
教育長職務代理者	北 沢 秀 雄
委 員	綿 谷 憲 一
委 員	森 田 小 百 合
委 員	大 久 保 恵 子

○ 説 明 員

小野沢教育次長、児玉教育参事、山賀教育総務課長、翠川教育施設整備室長、緑川学校教育課長、竜野生涯学習・文化財課長、西嶋人権同和教育政策幹、櫻井スポーツ推進課長、武捨第二学校給食センター所長、小泉中央公民館長、馬場上野が丘公民館長、浅野上田図書館長、和根崎上田市立博物館長、小林丸子地域教育事務所長、松木真田地域教育事務所長、樋口武石地域教育事務所長

1 あいさつ

駅前に設置されている温度計だが、35℃を示したまま点滅しているということは35℃を越えている。猛暑の中、皆さんにお越しいただき恐縮している。

上田市の小中学校だが、オリンピック開催にあわせて多くの学校で21日に終業式を行い、22日から夏休みに入り、8月19日、20日あたりが2学期スタートになる。一部の学校では8月24日になるわけだが、子どもたちには昨年とても切ない思いをさせてしまった。今年はいよいよ夏休みになればと思っている。また、この夏休み期間を狙って、コロナウィルスのワクチン接種を学校の教職員を優先接種にさせていただいた。本当にありがたいご配慮をいただいているわけだが、先週の土日あたりから教職員の接種が始まっている。小学生12歳未満の子どもたちはワクチン接種ができないので、教職職員からうつさないようにということが一番の趣旨となる。そのようなことでワクチン接種を優先的にさせていただくことでご理解いただきたい。

2 協議事項

(1)令和2年度教育行政に係る事務の点検及び評価について（教育総務課）

峯村教育長

本日の協議事項は2点あるが、まず、1点目の令和2年度の教育行政に係る事務の点検及び評価の実施について、教育委員の皆さま方には3月に丁寧にご確認いただきご意見をいただいた。それを受けて、教育委員の皆さんを含めた上田市教育委員会という組織全体の点検について、第三者委員会となる「上田市教育行政評価懇話会」に諮問をした。2回の会議を経たところだが、いわば教育委員会内部だけでの評価ということを避けるために有識者の会議に委ねている。本日は資料の評価報告書（案）に対する網掛けの部分、意見に対する考え方について、教育委員の皆さまからご意見をいただきたいと思う。教育行政評価懇話会の委員の皆さんのご意見を尊重していただきながら、対局的なお立場のご意見をお願いしたい。時間の関係でシート1枚ずつということではなくてブロックごとに進めてまいりたいと思う。

まず、はじめに上田市教育支援プランの7項目を発表させていただく。それでは、山賀課長説明をお願いしたい。

○資料1により山賀教育総務課長説明（要旨）

資料1-1をご覧ください。

最初に点検の制度について説明をさせていただく。1の概要だが、法律に基づく制度として、教育委員会は行っている事務の管理、及び執行の状況について点検評価等を行い、報告書を作成し、議会へ提出し報告するということが定められている。そこで上田市教育委員会では今、教育長からお話があったように、外部の有識者からなる教育行政評価懇話会に教育委員会としての事業の点検をお諮りし、評価・意見を提言いただいたことになる。対象とする事業について、教育委員会が行っている事業は大変多いので、毎年、重点目標として掲げている事業をこの評価懇話会に諮るようにしている。令和2年度の事業については23の事業を対象としたところである。3月にその実績報告書に基づいて説明をし、今日のところでは、先ほど教育長からお話があったように、資料1-2の評価報告書を開いていただくと、例えば、3ページをご覧くださいと、今日ご意見を主にいただきたい部分は中央より少し下になるが、縦書きで「上田市教育行政評価懇話会」と記載があるが、その部分より上に記載の部分について報告をしたところ、教育行政評価懇話会の委員さんから、こういった意見をいただいたというものが「委員からの意見」の欄である。そこについて意見に対する考え方として、現時点では事務局の案として少し濃い網掛けになって記載をしてあるもの、本日はこの部分について、教育委員会と

してこういった考え方でお答えしてよいかという点について、ご意見を頂戴したいというように考えている。

峯村教育長

それでは、さっそくご意見をいただきたい。1 上田市教育支援プランの推進、3 ページから9 ページまでこの内容についてご意見をいただきたい。

北沢委員

全体的に問題はないが、今後の方向性として3 ページの②M I Mの「読み」の向上ということについて、学力定着・向上の中で「読み」は学力の基礎で大事だということは分かるが、このことを特化して項目を設けることが妥当かどうかを今後検討していただきたい。M I Mで「読み」を取り上げているが、言語活動の中で「書く」「聞く」「話す」は、どうなのかということになる。M I Mの内容は十分承知しているが、読みに特化する意図というものが、どこにあるのか見えず、不明確である。今後の検討課題として考えていただきたい。今回は具体的な取組、目標にあるので良いが、今後考えていただきたい。

峯村教育長

令和3年度も挙げてあるため、令和3年度が終わった段階でのM I Mも同じ内容になってしまう。変更はきかないのか。

山賀教育総務課長

今のご指摘も含めて、この時期に令和2年度の評価をしていただいて報告をしていただいているという時期のずれがある。令和3年度、今年度の取組は後期当初に目標を設定してしまっている。令和3年度のところについても学力の育成については、M I Mの活用による「読み」による向上ということを目指して到達度を図る指標にもなり得るものだから、目標として掲げているという現状にある。またそのあたり、今後どう活かせるかということを担当課と調整をしたいと考えているが、現状としてはすぐに反映させることができなくて申し訳なく思う。

峯村教育長

今後大きな問題になると思う。令和2年の事業評価をもとに令和3年度をどう行っていくかということが基本になる。例えば、N R Tの結果分析から各校の学力向上に挑戦していくんだという大きな流れがあるので、それもこれから加える部分はできないか。そうしないと、北沢委員がおっしゃるように、M I Mは1つの手段である。もっと大きな視点観点から学力向上はできないか。

北沢委員

私が言いたいことは教育長と同じである。M I Mは、言語活動の「聞く、話す、読む、書く」の中の1つである。学力定着・向上という大きな項目の中で、このような1活動を①と②に並列に並べることに違和感がある。読みを重視したときに、ではリスニング、ライティング、ス

ピーキングはどうなのかという話になる。全国学力学習状況調査やN R Tの結果をどのように活かすのかといった視点で考えてもよい。

峯村教育長

検討をお願いしたい。変えられないときはその旨定例会で報告をお願いしたい。できれば、部分的に変えられることはできないだろうか。

少し検討をさせていただきたい。

北沢委員よろしいか。

北沢委員

了承。

峯村教育長

そのようなことでお預かりさせていただく。

ほかにはいかがか。

森田委員

7ページの教員の働き方改革の推進について、働き方改革の中では、教職員の勤務時間の軽減や業務の効率化というところが終始問われるところではある。もう一方で働き改革のところで教職員の職場環境、特にメンタル的な部分のところを改訂の大きな柱として働き方改革に掲げられているところだと思う。例えば、教員のキャリアカウンセリングの導入や研修を増やしていく等、そのような部分に触れていくことがよいと思う。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

よろしいか。

○全員了承

峯村教育長

それでは次のグループに入る。2 安心安全な教育環境の整備についてお願いしたい。

峯村教育長

よろしいか。

○全員了承

峯村教育長

それでは次のグループに入る。 3 文化遺産の保存・継承・活用、13ページから16ページについていかがか。

よろしいか。

○全員了承

峯村教育長

続いて、4 生涯学習の推進と学習環境の整備、17ページから21ページまで。

北沢委員

18ページと21ページに関わって、18ページの網掛けの部分には「コロナ禍にあって地域の方が学校へ行きにくい」「その事業に参加しにくい」ことが記されていない。21ページには、「今後の課題等の中にもコロナ禍の中にあっても…」ということで、目標の達成状況の中に新型コロナウイルス感染防止の状況が明記されている。21ページの「公民館事業の充実」での記し方や内容が妥当である。また、18ページの具体的な取組のところでは、ボランティアの依頼の事業費がゼロとあるが、今後の課題等に反映されていない。地域の方からも、「今年はコロナ禍で学校から申し出や依頼がない」ということも聞いている。きちんと取り上げて、21ページのように明記しておいた方がよいのではないか。

峯村教育長

では、コロナに係る記載をお願いしたい。

竜野生涯学習課長

こちらの内容について文言を入れるようにしたい。

森田委員

22ページの図書館サービスの充実だが、委員からの意見で①学校回送に当たっては、地域間で取組に差が出ないように推進されることを望みます。という回答にこの取組を検討していきます。また、②専門性や接遇の向上に努めていくことを望みます。に対する回答は、丁寧な接遇に努めていきますと記載があるが、その答えに対して、はいそういたします、というだけで考え方が返されていない。具体的な内容は記載できないのか。

浅野上田図書館長

まずは①の学校回送についての地域間で取組に差が出ないようにということだが、懇話会の委員さんからは、真田地域では学校回送の車が行っていなく、学校の先生や庁務員の先生が、図書のやり取りをしていただいているというお話がある。そうしたことから、こういったご意見をいただいた。現在、その状況がどういうことなのか、どのくらいの冊数、どのくらいの頻度、どのように行っているのかを確認しているところから、このような回答になっ

てしまった。もう少し具体的に記載できるようにしたい。②についても、もう少し具体的に、
どういったことで専門性を高めることができるかを加えさせていただきたいと思う。

峯村教育長

議会答弁のように、理念と現状と今後教育委員会としては、というような説明の方がよいと
森田委員からご意見をいただいたところ。全体が分からない。

森田委員

今、おっしゃられたように確認中でこのような状況で進めていますということが事実とし
てあるならば、そのように記載してよいと思う。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

○全員了承

峯村教育長

それでは次のグループ、5 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備 2 2 ページから
2 5 ページについて。

よろしいか。

○全員了承

峯村教育長

よく読んでいただいて、ご意見をいただいた。

8月に入ってからもう一度懇話会があるので、いただいたご意見をそちらへ反映し、懇話会
の皆さんにご意見をいただきたいと思う。

それでは、次に移りたいと思う。

○全員了承

(2) 小中学校のあり方について (教育総務課)

○資料 2 により山賀教育総務課長説明 (要旨)

小中学校のあり方について協議事項に上げさせていただいた。3月の定例教育委員会るとき
に、2年半にわたりご検討いただいたあり方検討委員会の桜井委員長の方から、小学校のあり
方に関する基本方針ができたというところでご提出をいただいたところである。この基本方針
については、教育委員の皆さんにも協議会の方でご意見を頂戴しているところであるが、この
方針に沿って今後、上田市の小規模化した学校に取り組んでいくその方向性について、教育委
員の皆さまから本日ご意見をいただきたくお願いしたい。

峯村教育長

今、課長の説明があったとおり、あり方に関する基本方針についてご意見をお願いしたい。

北沢委員

進め方でお願いしたいことは、どここの小学校がいつまでにどうなるのか、結論ありきで、スケジュールを組んでいくことはないようにしていただきたい。今、示されている内容は、「説明時期」「説明内容」「説明相手」を適宜に行っていただいているので、この方向でよいと思う。さらに、説明する相手が落ちていないか、ということをご丁寧に検討していただき、もれがないようにしていただきたい。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

綿谷委員

あり方の基本方針は目指す子ども像というものがあり、どういう子どもに育ててもらいたいのかというところが重要だと思う。やはり、丁寧な説明の中には、そこを理解してもらうことが非常に大切である。丁寧な説明をこれからしていくと思うので、これからはもっと多様化の時代という中でコミュニケーションはある程度いろいろな会話をしながら、そのようなものが培われていくと思う。そういうものを大事にしていかななくてはならない。子どもを中心に考えたあり方の考え方というものが理解できるよう説明をしていただきたい。

森田委員

あり方の基本方針の中で、今回この小規模校をどのように進めていけばよいかを考えていくという中で、基本方針の学びの環境に掲げているところにその根幹にあると思う。特に学校で、一定規模の集団生活をとおして多様な考え方や個性を持つ仲間と学びを深める、とある。学校に求められる意義として、集団生活の中での学びというところが基本的なところだと思う。上田市のあり方に関する基本方針にも掲げられており、教育のあり方を考える上で重要な基本的な要件として考えを進めていくことがよいと思う。

大久保委員

いちばんはそこで学ぶ、これから学ぶ子どもたちの教育環境をどのように整えていくかということがまずは大切だと思う。学校は地域の方の心の拠り所、そういった側面があるので、地域の方にしてみれば、自分がかつて学んだ学校が存続するかしないかのことで、やはり複雑な思いというのはどうしてもお持ちになると思う。そういった方々に先ほど北沢委員がおっしゃられたようにもれがないように丁寧な説明、ご意見があればそういったことに対する丁寧な対応を進めていただきたい。

北沢委員

基本方針の内容に関わって、一番大事にしていきたいことは、17ページに記されているが「子どもにとって最も望ましい教育環境は何か」ということを、誰もが第一に考えていくべきだと思う。ただし、子どもにとって最も望ましい教育環境は、人によって考え方が多様である。その多様である望ましい教育環境をどのように集約していくのかは難しいが、その過程を大事にしていきたい。望ましい教育環境のハード面、ソフト面の中身を丁寧に考えていきたいと思う。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

あり方検討委員会がお示ししていただいたところで、方針や内容を、この方針で進めるということを経済委員会の総意として認めさせていただいて、この方針で進めるということにご同意いただいでよろしいか。

○全員了承

3 報告事項

(1) 第61回上田市短詩型文学祭の作品募集について（中央公民館）

○資料3により小泉中央公民館長説明（要旨）

資料3をご覧ください。市内における文化活動の振興と地域文化の向上を目的として、昭和32年から始まっている「上田市短詩型文学祭」は今年で第61回、61年目となっている。昨年は60回目と節目の年であり、60年経ったというところで資料の裏面の参考資料を見ていただくと一昨年と比べ1,051人の応募で約40%の増加があった。資料の表面にお戻りいただき、今年度は第61回目ということで引き続き盛大に開催してまいりたいと思っている。1募集、2投稿料、3広報については資料記載のとおりである。1点、変わった点については、これまでの短歌については紙面の関係もあって1首のみの応募ということだったが、短歌の選者の方から、ぜひ我々も2首掲載させていただきたいということで、今回は2作品ということに変えて募集を行っていきたいと思う。チラシ等は各施設に配布しているが、その前からお電話等でお問い合わせが多く、また学校からもどのような状況になっているのかということでお問い合わせがあった。4の短詩型文学祭という形で表彰式を行う予定だが、昨年はコロナウイルスの関係で中止としているが、現在ワクチン接種が進んでおり、感染対策を行いながら盛大に開催してまいりたいと考えている。

峯村教育長

昨年と変えたところは1点あり、短歌の募集を2作品まで可とすることになった。ご意見等があればお出しいただきたい。

よろしいか。

○全員了承

(2) 令和3年度夏休みわいわい塾の実施について（上野が丘公民館）

○資料4により馬場上野が丘公民館長説明（要旨）

子どもの居場所づくりとしてはじまった夏休み上野が丘わいわい塾は今年で9回目となる。昨年はコロナ禍で中止となったが、今年はコロナ感染予防対策を十分にとった上で開催することとなった。今年も地域のボランティアの皆さんの支援をいただき、7月25日（日）から26日（月）までの2日間、市民の森公園一帯で開催する。感染予防のため、日程やボランティア参加者さんを含む参加人数の見直しを行い、会場を野外とすることで感染対策をとっている。今年はいずれの日も参加定員を設けた。各日定員50名に対し、全体で小学生70名の申込があり各日35名の参加となる。この資料を作成後に参加のキャンセルがあったので、現時点で25日（日）の参加者は33名となる。参加者を5班に分け、そこにボランティアスタッフが入りフィールドゲームや川柳づくり等の活動を行う。今年は参加人数を絞ったため、地域のボランティアスタッフも例年に比べ少ないが、この中にはわいわい塾を体験した中学生ボランティアも

含まれている。今年度のポイントは資料にもお示ししたとおり、9回目となるわいわい塾が今まで皆さんのご協力もあり大きな事故もなかったが、今年はコロナ禍でもあり、また夏休み中は天候の変化や暑さが心配される。安全の確保と参加される小学生、ボランティアスタッフの健康を十分に留意していきたいと思う。

峯村教育長

ただ今の報告について、ご意見ご質問等があればお出しいただきたい。

綿谷委員

わいわい塾に以前から参加された方が、今度は地域のボランティアとして参加されることは大きなことだと思う。そのような人たちが子どもたちと一緒に参加する、また参加した今の小学生たちが将来そういったボランティア精神をもって子どもたちのためになっていただくことを願いたい。

峯村教育長

綿谷委員がご指摘された、参加者が卒業をしてもボランティアになっていく。これは非常に連続性がある素晴らしい事業だと思う。

全員了承

(3) マラソン大会等の開催について (スポーツ推進課)

○資料5により櫻井スポーツ推進課長、小林丸子地域教育事務所長、樋口武石地域教育事務所長説明 (要旨)

櫻井スポーツ推進課長

昨年度は資料記載の3つの大会はコロナ感染拡大防止ということで中止したわけだが、今年度は最大限対策をとって実施したいということで進めている。それぞれの担当課の方から内容についてご説明をさせていただく。

●第26回信州爆水RUN in 依田川

小林丸子教育事務所長

資料をおめくりいただき、チラシをご覧ください。こちらのイベントは主催が実行委員会、上田市教育委員会である。期日が8月8日(日)10時スタート、主会場は丸子の総合グラウンドを中心とした依田川に沿ったコースで構成している。コースについては、今年はコロナ禍ということも鑑みて、ファミリー・グループコース(約3km)のみとした。申込期間については6月25日(金)までということで過ぎてはいるが、参加申込者数は488人、募集を500人とリミットをかけた。その中で上田市在住の方が328人ということで申し込みをいただいている。コロナ対策として、従来、先ほど申しあげたファミリー・グループコースに加えて、ずくだせコース、鉄人両コースの3コースがあるが、そのうちずくだせコースと鉄人両コースの2つを今回は取り止めた。また、閉会式、今回の大会はイベントということもあり、それにとまなう飲食関係の出店というものは中止とした。そのほか、ウェーブスタートの実施ということで、時間差でスタートする手法を取り入れて実施していく。

●第35回上田古戦場ハーフマラソン

櫻井スポーツ推進課長

第35回上田古戦場ハーフマラソンについて、期日は10月10（日）午前9時スタート、コースは県営上田野球場をスタートして千曲川左岸、川西地域を中心としたコースを回ることとしている。種目は資料記載のとおり、例年どおりの種目を設定して表彰も例年どおりの区分で表彰する。申し込みは7月26日（月）から8月14日（土）まで、先着順で2,000人、例年3,000人のところを絞って2,000人ということで募集をかけてまいりたいと考えている。コロナ対策についてだが、例年、有名なゲストランナーをお呼びしたり、九度山町をご招待したり、飲食関係の出店をしていたが中止し、走ることに特化した大会を実施したいと考えている。

●第32回ともしびの里駅伝大会

樋口武石地域教育事務所長

昨年はコロナ禍で中止、一昨年は東日本台風の関係で中止となって3年ぶりの大会の開催となる。期日は10月24日（日）午前10時30分スタートとしている。主会場は武石地域総合センター駐車場、コースはともしび博物館前をスタートし、7区間25.1キロのコースを行う。表彰は資料記載のとおり実施する予定である。申し込み期間は、8月2日（月）から9月17日（金）までである。参加予定人数は約600人と記載があるが、例年では約倍近くの人数の参加があるが、今年は50チームを上限として募集したいと思う。50チームを越えた場合は抽選とする。コロナ対策としては、チーム数を減らし50チームを上限として行うことや、ゲストをお呼びしないこと。また、練馬区の招待事業として招待をさせていただいていたが、ご相談を申し上げて中止としたいと思う。また、出店も出さないということや、毎回、開会式、閉会式は時間がかかってしまうところだが、短縮して行いたいと考えている。

峯村教育長

コロナ禍での3つの事業についてだが、いかがだろうか。

北沢委員

3つの事業について、わいわい塾もマラソン大会も駅伝大会もコロナ禍にあって開催する方向で考えていただき大変ありがたい。コロナだから中止ということではなくて、内容を見直したり工夫をしたりして開催の方向で考えていただいたことはよい。特に新型コロナウイルス感染防止への対策がなされていて素晴らしいと思う。ただし、どのような状況になれば中止になるのか教えていただきたい。

小林丸子地域教育事務所長

信州爆水RUNについては、レベル5になれば中止ということで行っていく。

櫻井スポーツ推進課長

ハーフマラソンについてもレベル5になると中止にしている。それ以外の状況については、9月末にもう一度実行委員会を開催してそこで最終決定をする予定である。

樋口武石地域教育事務所長

2大会と同様にレベル5で中止にしたいと思う。また、実行委員会をもう一度開催する予定なのでそこで検討したいと思う。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

綿谷委員

爆水RUNはウェーブスタートということで時間差があると思うが、古戦場ハーフマラソンは特に参加者が2,000人ということで、いろいろなコース種目や時間差で分けるなどすると思うが、人が多く集まるスタート地点では密になると思う。そのあたりの対策はどうか。

櫻井スポーツ推進課長

各種目を分けて時間差でスタートするので、まずはそこで別れることと、ハーフマラソンがいちばん参加者数が多いが、なるべくスタート地点で密にならないように列を長くとした形にしたい。同時にスタートはするが、隊列を長くとした形でスタートしていただくように考えている。その上で公式の記録はバンッとスタートしたところからの記録になるが、長くなるとそこまでスタート地点へ行くまで長くかかってしまうので、そこからスタートしたタイムも同時に計測をしてご本人に納得していただける2種類の計測をすることで、なるべく隊列を長くして密にならないような対策をとりたいというように考えている。

峯村教育長

ともしびの里駅伝は約600人ということでいかがだろうか。

樋口武石地域教育事務所長

こちらは駅伝なので、先ほど申しあげた50チームが上限でスタートは50人ということになる。道幅いっぱいのスタートのところで間隔をとってという形で考えている。

峯村教育長

綿谷委員いかがだろうか。

綿谷委員

不平不満の出ないようお願いしたい。対策をとって市民を守っていただくようお願いしたい。

峯村教育長

爆水RUNだが、東日本台風で依田川の河川敷が傷んでいる。それを十分に配慮してコース設定を行っている。

それではこちらの件についてはよろしいか。

全員了承

(4) 「2021友好都市ブルームフィールド市郡交流事業」の中止について (丸子地域教育事務所)

○資料6により小林丸子地域教育事務所長説明(要旨)

2021友好都市ブルームフィールド市郡交流事業の中止について報告させていただく。

1 概要

平成13(2001)年に旧丸子町とブルームフィールド市郡との友好都市提携が結ばれたということで、市民友好提携の合意に基づき人的交流、特に「未来を担う子どもたちの交流を積極的に推進することが、将来にわたる友好親善の絆を築く」との考えから、中学生交流事業がスタートし、お互いの文化や習慣などを学んできた。

令和2年度は先方からの訪問団の受入を計画していたが、新型コロナウイルス感染症等の影響により令和3年度に延長することとした。しかし、依然として1年経っても新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が継続していることから、本年度の事業も中止にすることと決定した。

2 主催

上田市、上田市教育委員会、上田国際交流事業を進める会(上田市から委託)で構成されている。

3 予定されていた受入れ訪問団の規模(1)中学生 例年約10名(2)引率者 例年約3名の状況であった。

4 直近の派遣・受入状況

派遣の履歴は行う。受け入れについては従う。概ね派遣は中学生12名、受け入れについては7名から9名ということで実行してきた。

5 派遣中止の理由

まだ子どもたちにワクチン接種は始まっていないことも含め、残念ながら昨年度に引き続き令和3年度の事業の実施も見送ることとした。

6 今後の予定等

ブルームフィールド現地事務局と再び協議を重ね、今後の新型コロナウイルス感染症への抜本的な対策を講じながら来年度の実施に向けて取組んでまいりたい。具体的なことを申し上げると、現時点で先方の事務局と現時点で決まっている部分については、来年度の実施は7月末から8月上旬に行っていこうということで話をしている。また、来年3月上旬に丸子文化会館で訪問団受け入れ、ホストファミリー希望者説明会を予定している。来年度に向けて準備を進めている状況である。

峯村教育長

事業の中止について報告があった。ご意見をお願いしたい。

森田委員

説明をお聞きし、中止の方向でよいと思う。ただ、せっかく国際交流のネットワークをもっているのだから、今年度GIGAスクールでタブレットが入っているのだから、例えば、オンラインを使ってお互いを紹介するなど、そのような交流の仕方もあると思う。また可能な方法を模索していただきながら、継続的な交流を深めていただきたい。

小林丸子地域教育事務所長

おっしゃるとおり、窓口である交流事業を進める会と連携して、IT等を活用したやり方を検討しながら取組んで参りたいと考えている。

峯村教育長

ほかにはいかがか。
よろしいか。

全員了承

(5) 第59回信州上田丸子夏期大学の開催について(丸子地域教育事務所)【説明なし】

○資料7

(6) 寄付の状況(学校教育課 上田図書館)【説明なし】

○資料8

(7) 行事共催申請状況について【説明なし】

(学校教育課 生涯学習・文化財課 スポーツ推進課 丸子地域教育事務所)

○資料 9-1 9-2 9-3 9-4

(8) 公民館だより(各公民館)【説明なし】

○資料10

峯村教育長

それでは、報告事項の(5)から(8)までは説明はない。ご意見等があればお出しいただきたい。
よろしいか。

○全員了承

4 その他

峯村教育長

その他に何か連絡があればお願いしたい。
よろしいか。

○全員了承

峯村教育長

それでは以上をもって7月の定例会を終了する。

○全員了承

閉 会